

月曜日が楽しみな会社にするために！

## ゼロから始める TOC 実践ワークショップ 全5回コース

全世界で 1000 万人が読み、世界各地で幅広い分野で目覚ましい成功事例が続出している『ザ・ゴール』。この本の著者エリヤフ・ゴールドラット博士が開発した全体最適のマネジメント理論が TOC(Theory Of Constraints)です。

TOC は、開発したゴールドラット博士の意向もあり、20 年間近く、その最先端の手法が日本に紹介されることが封印されてきました。現在、日本に紹介されている TOC の多くの手法も実は 10-20 年前に開発されたものです。

この期間も、そして現在も TOC は世界中で進化しつづけ、工場生産、ロジスティックス、サービス、プロジェクトマネジメント、行政、組織問題、経営会計手法、教育分野など、さまざまな分野に展開され、目覚ましい成果を出し続けています。

多くの方々のご希望を受け、今回のワークショップでは、TOC をゼロから学び、実践できるようにするワークショップを行うことにしました。自社を良くすることを通して、日本を、そして世界をより良くしていく志を持った方々のために、ゴールドラット・グループが持つ最新の知識体系、ノウハウを提供します。特別な準備は必要ありません。会社をよくしたい、職場をよくしたいという思いを持ってきていただければ結構です。

時間は、いずれも 10 時から 18 時までです。

- ・第 1 回 5 月 10 日(土)  
全体最適の生産マネジメント－DBR (Drum Buffer Rope)
- ・第 2 回 6 月 21 日(土)  
全体最適のサプライチェーンマネジメント－DBM (Dynamic Buffer Management)
- ・第 3 回 7 月 19 日(土)  
全体最適の意思決定会計－TA (Throughput Account)
- ・第 4 回 8 月 23 日(土)  
全体最適のプロジェクトマネジメント－CCPM (Critical Chain Project Management)
- ・第 5 回 9 月 20 日(土)  
実践成果報告会、アドバイス及び、交流会

理論と実践、そして豊富な事例が盛りだくさん。充実したワークショップになると思っています。この 5 回コースの期間は、参加されるみなさんに、実践のためのメールによる個別相談もさせていただく予定です。

## 【プログラム概要】

### 第1回 全体最適の生産マネジメントーDBR (Drum Buffer Rope)

- ① 自社の組織について考える
  - ・ 望ましくない現象とは
  - ・ 望ましい現象とは
- ② 『ザ・ゴール』についてあらためて考察する
  - ・ 全体最適のマネジメント理論 TOC とは
  - ・ 継続的改善とは
  - ・ DBR とは
- ③ 博士が自ら最も重要な論文と位置付けていた「巨人の肩の上に立って」から生産の本質を学ぶ
  - ・ 生産における二人の巨人と、その偉業の考察
  - ・ 偉大な巨人、大野耐一氏から学ぶべきもの
  - ・ 流れの4つのコンセプト
  - ・ ケーススタディ
    1. 生産だけに限らない適用事例（営業、設計など）
    2. トヨタ生産方式導入ラインを6日間で60%キャパアップする方法
- ④ 自社に当てはめて考えるワークショップ
  - ・ 制約を特定する
  - ・ 制約を徹底活用する方法を決める
  - ・ その他すべてを制約に従属させる
  - ・ 制約の能力を高める
  - ・ 惰性に気を付けながらステップ1に戻る
- ⑤ 学びを活かし実践するための宿題
- ⑥ 質疑応答+次回のワークショップまでメールによる個別指導

### 第2回 全体最適のサプライチェーンマネジメントーDBM (Dynamic Buffer Management)

- ① 経営幹部の立場に立って考える
  - ・ 望ましくない現象とは
  - ・ 望ましい現象とは
- ② 全体最適のサプライチェーンマネジメントーDBM を学ぶ
  - ・ 過剰在庫と欠品を招く落とし穴
  - ・ 過剰在庫と欠品を解消する新しい考え方の前提
  - ・ なぜ、従来の後補充生産が思ったような成果をもたらさないのか
    - 後補充生産と DBM の決定的な違い
  - ・ ケーススタディ
    1. 在庫を圧倒的に減らしながら 売り上げ6割の飛躍的成長を実現
    2. 1か月でどれだけの変化を示せるか、ボトムアップでトップを巻き込む事例

- ③ 自社に当てはめて考えるワークショップ
  - ・ 望ましい状況は実現できそうか
  - ・ 会社に戻ってどう伝えるか
- ④ 学びを活かし実践するための宿題
- ⑤ 質疑応答+次回のワークショップまでメールによる個別指導

### 第3回 全体最適の意思決定会計—TA (Throughput Accounting)

- ① 現在の会計評価指標について考える
  - ・ 望ましくない現象とは
  - ・ 望ましい現象とは
- ② 「スループット会計」とは
  - ・ なぜ、従来の評価指標に現場が違和感を感じるのか、実験を通して考察する
  - ・ 原価会計による意思決定に潜む、落とし穴とは
  - ・ 組織全体にとって、より良い意思決定をするために
  - ・ 従来の指標と対立せず、むしろ相乗効果を出す導入と運用のコツ
  - ・ ケーススタディ
    1. 受注の意思決定を変えるだけで、苦境から飛躍的成長を実現
    2. 設備稼働率至上主義から、スループット重視でキャパシティを上げ、リードタイムと在庫を劇的に削減
- ③ 自社に当てはめて考えるワークショップ
  - ・ 自社の課題と、解決の方向性について、周囲をまきこむために
  - ・ 会社に戻ってどう伝えるか
- ④ 学びを活かし実践するための宿題
- ⑤ 質疑応答+次回のワークショップまでメールによる個別指導

### 第4回 全体最適のプロジェクトマネジメント—CCPM (Critical Chain Project Management)

- ① 現在のプロジェクト現場について考える
  - ・ 望ましくない現象とは
  - ・ 望ましい現象とは
- ② 「CCPM」とは
  - ・ プロジェクトに潜む落とし穴
  - ・ 現場にゆとりとチームワークをもたらす5つのステップ
  - ・ 実際に工程表を引いてみる
  - ・ ケーススタディ
    1. CCPMによって経営危機から飛躍的成長を実現
    2. CCPMの運用を台無しにするたった一つのこと、Management by Fear
- ③ 運用の仕方について学ぶ
  - ・ 良い遅れと悪い遅れとは
  - ・ 不確実性に対処する先手管理運用方法
- ④ 自社に当てはめて考えるワークショップ

- ・どのプロジェクトで実証実験するべきか
  - ・会社に戻ってどう伝えるか
- ⑤ 学びを活かし実践するための宿題
- ⑥ 質疑応答+次回のワークショップまでメールによる個別指導

## 第5回 実践成果報告会、アドバイス及び交流会

- ・参加者からの実践報告
- ・トップエキスパートからのアドバイス
- ・今までの振り返り
- ・交流会（おいしいお酒とともに）
- ・月曜日を楽しみな会社にするために

### 【参加費】

この実践ワークショップは、5日間通して、ご参加いただくことを基本にしておりますが、テーマごとの選択も可能です。また、自社を良くすることを同志の皆さん方で実現していただくべく、数名単位でご参加いただくことをお勧めします。

・テーマごとのご参加:4万円/回

・5回通してのご参加:12万円/5回

※ 宿泊費、交通費、食事代につきましては、各自でご負担願います。

※ 参加できない場合、代理の方による参加は可能です

### 【定員】

毎回 50名

(申込み多数の場合、企業実践者の方を優先させていただく場合がございます)

### 【会場】

「月曜日が楽しみな会社にしよう！」というゴールドラット博士の遺志を継ぎ、「楽月庵」と名付けられた、ゴールドラット・コンサルティングのセミナーハウスにて開催します。京都、大原の清流のほとりにある、じっくりと落ち着いて考えられる環境です。



ゴールドラットコンサルティング セミナーハウス 楽月庵  
〒601-1251 京都市左京区八瀬花尻町193番地



【アクセス】京都市営地下鉄 国際会館駅下車 タクシーで15分ほど



【お問い合わせ】

安田 悦子 090-1411-0417 [etsuko.yasuda@goldrattgroup.com](mailto:etsuko.yasuda@goldrattgroup.com)

濱野 繭子 090-9310-5564 [mayuko.hamano@goldrattgroup.com](mailto:mayuko.hamano@goldrattgroup.com)